学習のしあげ－対称な図形

たしかめよう

目標 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。

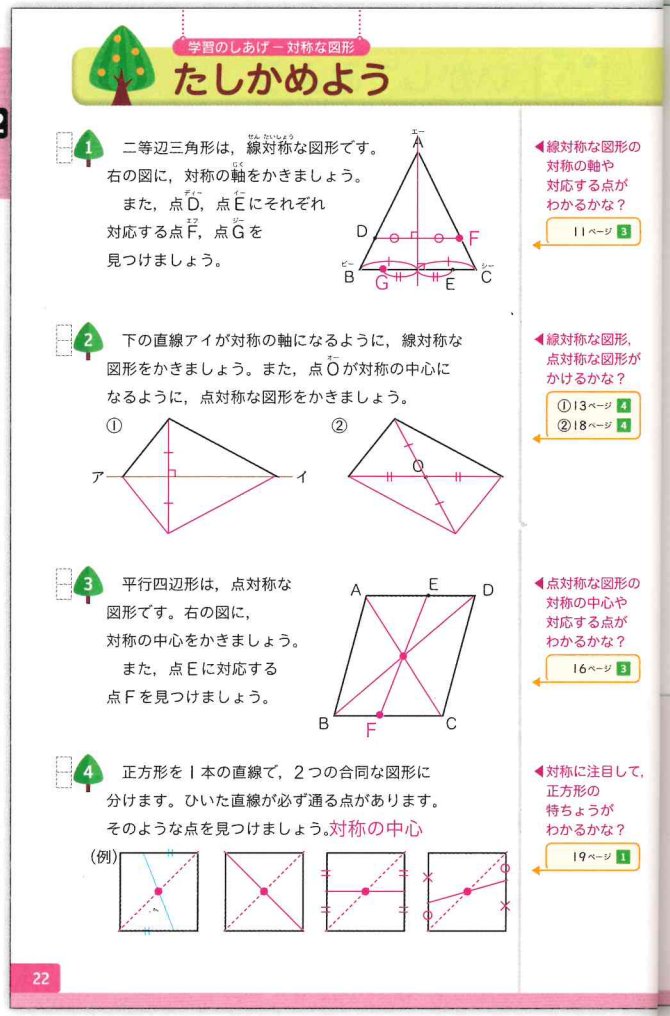
1 線対称な図形の性質を確かめる問題
➡教p.11
- 線対称な図形の性質を振り返る。

2 線対称な図形，点対称な図形をかく問題
①➡教p.13
②➡教p.18
- 全体の形を予想してからかかせる。
- 対称の軸，対称の中心を使ってかくことができるようにする。

3 点対称な図形の性質を確かめる問題
➡教p.16
- 点対称な図形の性質を振り返る。

4 正方形の対称性についての理解を確かめる問題
➡教p.19
- いくつか直線をひいてみる。また，それを写し取って重ねてみてもよい。

知・技 記録 基本的な問題を解決することができる。（観察・ノート）


学習のしあげ－対称な図形
たしかめよう

1 二等辺三角形は，線対称な図形です。右の図に，対称の軸をかきましょう。
また，点D，点Eにそれぞれ対応する点F，点Gを見つけましょう。

◀線対称な図形の対称の軸や対応する点がわかるかな？
11ページ 3

2 下の直線アイが対称の軸になるように，線対称な図形をかきましょう。また，点Oが対称の中心になるように，点対称な図形をかきましょう。

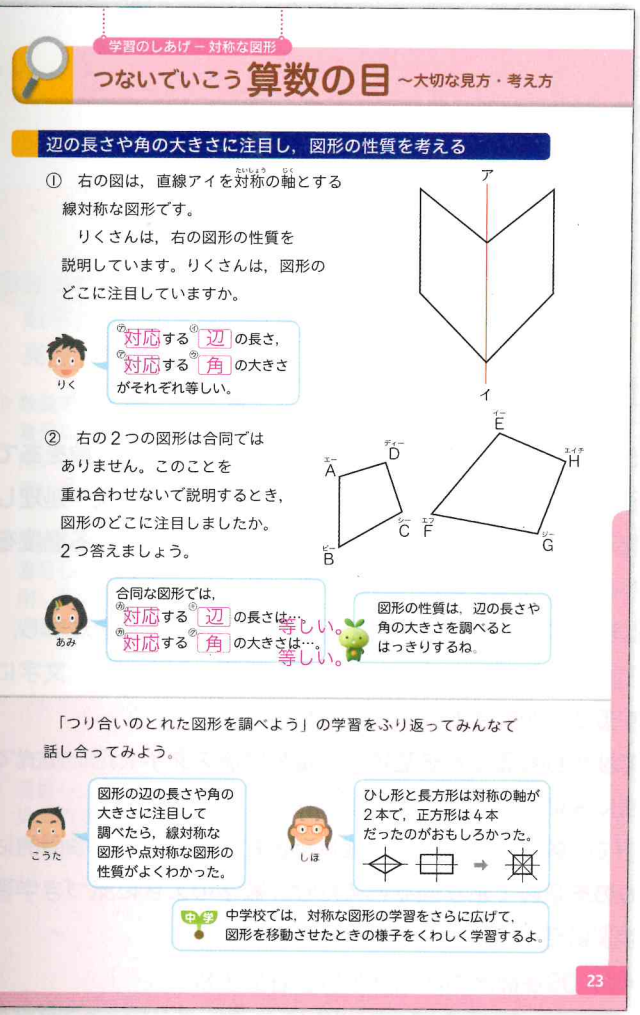
◀線対称な図形，点対称な図形がかけるかな？
①13ページ 4
②18ページ 4

3 平行四辺形は，点対称な図形です。右の図に，対称の中心をかきましょう。
また，点Eに対応する点Fを見つけましょう。

◀点対称な図形の対称の中心や対応する点がわかるかな？
16ページ 3

4 正方形を1本の直線で，2つの合同な図形に分けます。ひいた直線が必ず通る点があります。そのような点を見つけましょう。対称の中心

◀対称に注目して，正方形の特ちょうがわかるかな？
19ページ 1


学習のしあげ－対称な図形
つないでいこう 算数の目 ～大切な見方・考え方

辺の長さや角の大きさに注目し，図形の性質を考える

① 右の図は，直線アイを対称の軸とする線対称な図形です。
りくさんは，右の図形の性質を説明しています。りくさんは，図形のどこに注目していますか。

りく：対応する辺の長さ，対応する角の大きさがそれぞれ等しい。

② 右の2つの図形は合同ではありません。このことを重ね合わせないで説明するとき，図形のどこに注目しましたか。2つ答えましょう。

あみ：合同な図形では，対応する辺の長さは…等しい。対応する角の大きさは…等しい。

図形の性質は，辺の長さや角の大きさを調べるとはっきりするね。

「つり合いのとれた図形を調べよう」の学習をふり返ってみんなで話し合ってみよう。

こうた：図形の辺の長さや角の大きさに注目して調べたら，線対称な図形や点対称な図形の性質がよくわかった。

しほ：ひし形と長方形は対称の軸が2本で，正方形は4本だったのがおもしろかった。

中学 中学校では，対称な図形の学習をさらに広げて，図形を移動させたときの様子をくわしく学習するよ。

■「たしかめよう」の意図

「たしかめよう」は，単元の学習で扱っている基礎的な知識や技能の習熟，定着をねらいとした問題を中心に構成している。問題番号の横にある2つのますはチェック欄で，繰り返し取り組む際に使用する。例えば，1回目で正答できた問題には印をつけ，2回目以降は印のない問題を中心に取り組むなど，習熟，定着の程度に応じて効果的に学習に取り組むとよい。また，横欄の◀の文は，問題の意図を示しており，児童の自己評価に活用したい。さらに，その下には，問題を解くのに必要な学習内容をどこで学習したかを示している。必要に応じて該当ページを開き，学習内容を確認するとよい。

なお，学習状況をさらに詳細に把握するならば，ワークシート編に各単元の「観点別学習評価問題」を掲載しているので，それを活

■「つないでいこう 算数の目」の意図

「つないでいこう 算数の目」は，本単元で働かせ，成長させたい数学的な見方・考え方，及び思考力・判断力・表現力に焦点を当て，単元のゴールであらためて振り返り，価値づけることを意図している。

数学的な見方・考え方は，学年を追うごとに多面的，複眼的に広がっていき，学習したことを統合したり，学習をさらに発展させたりするなどの深い学びには欠かせないものである。そして，児童は問題解決の際に既に働かせているのだが，そのことは顕在化しにくく，自覚しづらい。「新しい算数」では，児童が，働かせた数学的な見方・考え方を，価値あるものとして発達段階に応じながら徐々に自覚していくことが大切であると考え，本ページを単元のゴールに設定した。